



滝川市立病院ふれあいフェスタ2017

市立病院すべての部門スタッフが力を結集！

手術体験！！キッズセミナーでは  
真剣な表情でシミュレーターに向かうこどもたち

## ● 目 次 ●

主な議案のあらまし	2
臨時会の開催・議決結果	3
一般質問から	4～9
北朝鮮による弾道ミサイル発射と核実験に 抗議する決議	10
決算審査特別委員会	11
副議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2017.11.1  
No.23

議会開会中

## 第3回定例会

## 主な議案のあらまし

平成29年第3回定例会は、9月6日から20日までの15日間の日程で開催しました。

本定例会では、平成29年度補正

した。

予算、条例改正などの審議のほか、平成28年度各会計決算について、市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。また、市政について11人の議員が一般質問を行いました。

## ◎平成28年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算8件を本会議において認定しました。

決算額は、一般会計が歳入213億7、612万円に対し、歳出208億6、553万円で、差し引き5億1、059万円の剰余となりました。

国民健康保険特別会計は、歳入54億1、433万円に対し、歳出55億1、995万円で、差し引き不足額1億562万円となり、翌年度歳入繰上充用金で補てんしました。

公営住宅事業特別会計は、歳入

7億3、336万円に対し、歳出6億5、114万円で、差し引き

8、222万円の剰余、介護保険特別会計は、保険事業勘定で、歳

入37億5、885万円に対し、歳出36億3、705万円で、差し引

き1億2、180万円の剰余、介護サービス事業勘定で、歳入9、

904万円に対し、歳出7、051万円

で、差し引き2、853万円の剰余、後期高齢者医療特別会

計は、歳入5億5、790万円に対し、歳出5億5、643万円

で、差し引き147万円の剰余が生じました。

また、土地区画整理事業特別会計は、歳入610万円に対し、歳出610万円

下水道事業会計の収益的収支は、事業収益13億7、460万円に対し、事業費用12億9、506万円

で、7、953万円の純利益、資本的収支は、収入6億8、372万円

に対し、支出12億4、863万円

で、差し引き不足額5億6、491万円

となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支は、事業収益64億1、936万円

に対し、事業費用は67億8、420万円

で、3億6、484万円の純損失、資本的収支は、収入9、530万円

に対し、支出4億1、761万円

で、差し引き不足額3億2、231万円

となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんし、なお不足する額は一時借入金で措置しました。

## ◎平成29年度補正予算

一般会計は、補正予算第3号により5、399万9千円を増額補正し、総額200億1、854万9千円

補正予算に計上された事業費等は、公益財団法人日本環境協会

の二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金

を受けて行うもみ殻を活用したバイオマスボイラー導入に係る事業化計画策定のための経費99万4千円

のほか、グラウンドゴルフネット設置工事や体育館外壁サイディング張修繕工事など滝川西高等学校の施設改修工事のための経費678万4千円

、学校給食江部乙共同調理場床改修工事実施のための経費176万6千円

、にぎわい広場の売却に伴う地方債の上償還のための経費1、741万3千円

、平成28年度国庫補助負担金及び道補助負担金並びに多目的機能支払交付金に係る返還のための経費1、804万2千円

です。

介護保険特別会計は、補正予算第1号により保険事業勘定において平成28年度の介護給付費等に係る国庫支出金等の精算による償還金の増額のため、4、954万円を増額補正し、総額40億8、953万5千円

## ◎その他の議案等

そのほか、14件の議案等を可決、選任、報告済としました。



▲全道大会優勝の瞬間

◎一般会計補正予算(第2号)  
 滝川西高等学校の第99回全国高等学校野球選手権大会全国大会への出場に伴う「北海道滝川西高等学校硬式野球部甲子園出場協賛会」に対する補助金を支出するため、800万円を補正し、総額199億6、455万円となりました。

平成29年第2回臨時会を8月4日に開催し、平成29年度滝川市一般会計補正予算について審議を行い全会一致で可決しました。議決した内容についてお知らせします。

## 第2回臨時会の開催

## 平成29年第3回定例会議決結果

### ●平成29年度補正予算

◎	平成29年度滝川市一般会計補正予算(第3号)
◎	平成29年度滝川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

### ●条例

◎	滝川市営住宅条例の一部を改正する条例
---	--------------------

### ●決算認定

<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定について
<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
■	平成28年度滝川市公営住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について <反対 館内 清水>
<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
■	平成28年度滝川市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について <反対 館内 清水>
<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市下水道事業会計決算の認定について
<input type="checkbox"/>	平成28年度滝川市病院事業会計決算の認定について

### ●決議

◎	北朝鮮による弾道ミサイル発射と核実験に抗議する決議
---	---------------------------

### ●その他

◎	決算審査特別委員会の設置について
◎	公の施設の指定管理者の指定について(地ビール製造施設)
◎	市道路線の認定及び廃止について
◎	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について
★	決算審査特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	平成28年度決算に係る健全化判断比率について
☆	平成28年度決算に係る資金不足比率について
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	株式会社滝川振興公社の経営状況について
☆	株式会社滝川グリーンの経営状況について
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について

◎ 全会一致可決      □ 全会一致認定  
 ■ 賛成多数認定      ★ 選任      ☆ 報告済

## 平成29年第2回臨時会議決結果

### ●平成29年度補正予算

◎	平成29年度滝川市一般会計補正予算(第2号)
---	------------------------

◎ 全会一致可決

第3回例会  
一般質問から



会派清新  
柴田 文男

危機管理対策について

**質問** 弾道ミサイルに係る市民への情報伝達については、緊急速報の手段として、消防サイレンが主な伝達手段となる。警報音として適切な吹鳴パターンなのか。また音量は全市をカバーできるものなのか伺う。



▲消防サイレン塔

**答弁** サイレンのパターンが火災などの区別が付きにくいとの指摘は承知してありますが、広報誌や防災関係のイベントなどで市民周知に努め、市民の認知度を高めていきます。また、音量は常に最大音量を用いています。新たな防災行政無線の設置も考えられますが、風向きの影響や費用がかかるなど導入は困難であると考えます。

**質問** 屋外にいた場合の避難について、国も初めは、頑丈な建物や地下などに避難するよう周知していたが、目の前の建物へ避難するように変わった。通行人が即座に避難するためには、受け入れられる側の店舗や一般住宅の理解も必要と思われるが、市の考えを伺う。

**答弁** 近くの建物への避難が最も適切な行動だと考えます。建物が無い場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ることが必要と考えます。また、ご指摘の通り、避難者に対する避難行動の周知だけではなく、避難者を受け入れる側の理解も併せて深めていかなければならないと考えています。

**質問** ミサイルの到達時間は7〜8分と言われ、安全に避難するには難しい。学校現場で子どもたちの安全を少しでも守るため、頭部を保護する防災頭巾などの整備が必要と思うが、考えを伺う。

**答弁** 子どもたちの安全はさまざまな角度から検討を行い、最大の注意を払わなければならないと考えます。ご提言については今後の検討事項として受け止めたいと考えています。



会派みどり  
木下八重子

空き地の雑草対応について

**質問** 空き地の雑草によって、ハエや蚊などの害虫の発生や、ねずみなどのすみかになるなどの不衛生で、隣接の住宅への迷惑になり、苦情なども聞いている。

持ち主がわからない場合などが考えられるが、行政としてどのような対応をしているのか伺う。

**答弁** 本市では、昭和55年に空き地の環境保全の適正化を図ることを目的とした指導要綱を制定し、空き地の適正管理について年間30件から50件程度指導しています。今年度につきましては、8月31日現在で38件指導しています。

空き地の雑草の指導につきましては、近隣住民からの通報を受け、職員による現地確認を行い、所有者または管理者に対し、文書や電話、口頭による指導を行っており、施設入所者や遠隔地の方々も除草ができるように市内の除草事業者を一覧を同封し、害虫駆除にお困り

の場合は、専門業者を紹介するなどの助言を行っています。

農村地区のごみ収集について

**質問** 生ごみや燃やせるごみの収集について、市街地においては、週2回収集しているが、農村地区においては、週1回しか収集されていない。農村地区で生ごみを、堆肥にしている家は少なく、農村地区においても週2回にすべきと考えられるが、変更する考えはないのか伺う。

**答弁** 平成15年4月から現在の分別収集がスタートしましたが、当時の住民説明会では、生ごみを自宅で処理する人が多いことやごみの保管場所に余裕があると考えられることから、それまでの月1回の収集が週1回に大幅に増えることと、住民の皆さんに理解をいただいています。今後、他市町村の事例なども参考に検討していきます。



▲ごみ収集風景



新政会  
本間 保 昭

総合交流ターミナルたきかわ  
(道の駅たきかわ) について

**質問** 近年は連続して赤字決算になっており、収入についても減少傾向が続いていると思うが、内部留保との関係において、同様の状況が続いたと仮定した場合、今後どうなるのか伺う。

**答弁** 総合交流ターミナルたきかわ管理組合を指定管理者として、これまで市からの管理代行負担金はなく、売り上げと出店者からの共益費により施設全体の運営管理を行っていますが、近年は赤字が続き、内部留保についても減少している状況にあります。同程度度の赤字が発生した場合、一年で内部留保がマイナスになることはありませんが、早急に改善を要すると認識しています。

**質問** 全国の道の駅はまちの顔として、それぞれの自治体が競争する中で注目度が上昇している。特産品などの売り物を磨くためにさ

まざまな工夫がされ、地域らしさを目指しているからだと思う。経営状況と近隣施設との比較という視点、日本で最も美しい村江部乙協議会や江部乙商工会との連携という視点、農村環境改善センターとの関係性の視点から滝川市の顔として、今後描くべき将来像とその方策について伺う。

**答弁** 本市の顔である施設の設置目的を果たすため、農産物や特産品などのPRや観光情報など、情報発信施設として発展させていかなければならないと考えます。さらなる販売品目の充実や陳列方法など施設の魅力アップについて管理組合と取り組んでいきたいと考えています。

また、事業実施の難しさも感じているので、細かく具体的な課題を解決していくことで経営改善を進めていきたいと考えており、3つの視点については、今後検討していきたいです。



▲道の駅たきかわ



日本共産党  
清水 雅人

江部乙中学校の適正配置計画について

**質問** 市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書で、江部乙中学校の統合の適否および小中一貫教育についての検討の経過が記載された。今後の方針として、保護者の理解はおおむね得られていると判断される。今年度は地域住民への説明会を開催し、市長部局とも連携し、江部乙中学校の統合を推進するというものである。PTA役員や保護者との懇談会の概要について伺う。

**答弁** PTA役員との懇談会は2回行い、小中学校の全保護者対象の懇談会は、個別に案内を郵送して開催しました。1回目は21人の20%出席、2回目15人の14%出席し、延べ約5時間懇談しました。資料は、適正配置計画の本編と概要版、江部乙小中学校の児童生徒数の推移と今後の見込みなどについて提示しています。

**質問** 小中一貫教育については、説明会の中で具体的事例を示して保護者に意見を伺うべきだったと思うが、説明の仕方などについて伺う。

**答弁** 小中一貫教育については、作られた目的など制度論を説明しました。

小規模校の緩和になるのかの質問に対しては、基本的な解決策にはならない制度であると説明しましたが、市教育委員会としては、小中一貫教育を排除して検討していくわけではありません。

**質問** 今回の適正配置計画は、学校の大規模改修、建て替え計画を凍結して進められているが、市の財政事情を優先して統合ありきで進めることは問題である。

これからどう進めていくのか考えを伺う。

**答弁** 今使用している部分の耐震化については、100%達成し、市としては、子どもの安全安心を、最優先で進めてきました。

今後、地域に押し付けることなく、統合を含めて地域の在り方、学校教育の在り方について検討を進めていきたいと考えています。



日本共産党  
館内 孝夫

**LGBT（エル・ジー・ビー・ティー）を含む性的少数者の方たちへの理解と周知について**

**質問** LGBTとは、レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両方の性別を好きになる人）、トランスジェンダー（性的違和・性同一性障害を含め、生まれたときに法的・社会的性別とは一致しない人）の頭文字を使った略語で、外見では認識できないので最後のマイノリティ（少数者）と呼ばれている。日本での当事者数は正確な実態は把握されていないが、電通総研の2017年調査では7・6%という数字が出ている。本市においても人数は明確ではないが、当事者はいると思われる。札幌市では、印刷物を各施設や民間の協力店舗に置き周知しているほか、小樽市では、6月の広報誌に掲載し、周知している。また、旭川市保健所でも印刷物の配布や職員向

けの勉強会を今秋に予定している。本市では、人権の保護や差別、いじめの解消を目指す啓発活動として、市職員や市民に対して周知などを行う計画があるのか伺う。

**答弁** 人権擁護の観点からも偏見や差別、不適切な取り扱いなどがあつてはならないことと認識しています。最近では、平成27年の東京都渋谷区をはじめとして今年6月の札幌市など全国6自治体で、法的効力は無いが同性をパートナーと認める制度が導入されています。

また、企業では、パートナーに対し家族割引を適用したり、保険会社が保険金受取人として認めるなど、LGBTに対する取り組みの広がりが見られます。

本市では、5月の男女共同参画週間に市役所ロビーのパネル展示に併せて啓発パンフレットの配布を行い、理解を進める取り組みを始めています。今後も啓発活動に取り組み、来年1月にまちづくりセンターで開催予定のLGBTの講演会を支援するなど、関係機関等と連携し、市民や市職員が学ぶ機会を提供したいと思えます。



会派みどり  
山本 正信

**米の直接支払交付金の廃止による影響について**

**質問** 平成30年度より米の直接支払交付金を廃止すると農林水産省の予算の概算要求で発表になっているが、本市への影響は大きく、市税の減少や稲作経営に多大な影響があると思われる。当然、JAたきかわと共に対応を考えていると思うが、本対策が復活されるように今後も要請を続けるべきと思うが市長の考えを伺う。

**答弁** 平成30年から米の生産調整の見直しに併せ、10アール当たりの7,500円の米の直接支払交付金が廃止されます。この財源については、米農家の所得が確保できる対策や支援など、水田農業支援の充実のため、農業関係団体とともにこれまでも要請を続けてきました。しかし、30年度の農林水産関係予算の概算要求では、財源の大半を31年1月からスタート予定の収入保険制度の準備のための積

み立てと、農地の基盤整備に充てるようです。

農家所得減少による認定農業者要件未達成や市税への影響は考えられますが、今のところどのくらいかは推計できません。

収入保険制度は、災害はもとより農産物価格の下落にも対応した制度で、所得安定対策の一方策であることから、JAたきかわの営農相談のもと本制度の活用を検討いただきたいと考えているところであり、JAたきかわと連携し、必要な情報提供に努めていきます。

また、国に対する要請については、これまでも北海道市長会を通じて要請を続けてきたところですが、引き続き米農家の所得確保対策のため財源確保と充実強化について要請を続けていきます。



▲稲刈り風景



公明党  
三上 裕久

避難行動要支援者の避難支援について

**質問** 避難行動要支援者に対する町内会、民生委員などの協力体制の確立へ向けた状況を伺う。

**答弁** これまですべての町内会長宅へ要支援者の個別プラン策定の協力をお願いしてきており、今後も策定率の向上を図っていきます。

**質問** 地域に割り振られた避難所は、地域住民が一斉に避難した場合に全員を収容できるのか伺う。

**答弁** 全市的には2万人規模の避難者を想定しているところですが、収容可能数は18,000人で不足の2,000人については、防災協定を結んでいる施設への収容が可能となっています。

**質問** 要支援者への避難支援は、誰が誰を支援するというように明確にされているのか伺う。

**答弁** 被害地域や被害状況などに基づいて、災害対策本部で避難支援に当たることとなります。

**質問** 河川敷施設の水害時の復旧についての考えを伺う。

**答弁** 国庫補助により95%が災害復旧事業債等で措置され、一般財源の負担とならないよう対策を講じていきます。

石狩川河川敷パークゴルフ場のオープン後の状況について

**質問** 総入場利用者数および市内利用者・市外利用者の利用状況を伺う。

**答弁** 8月末までの利用者は1万6,920人、市内利用者は1万2,482人、市外利用者は4,436人となっています。

**質問** オープン後の経済効果と市民の健康増進に、どの程度の効果があったと考えるのか伺う。

**答弁** 全道大会の開催時には、道内各地より宿泊利用があり、経済的効果が一定程度あったと思います。また、多世代交流、コミュニティづくり、市民の健康増進にも大いに効果があったと考えています。



▲石狩川河川敷パークゴルフ場



公明党  
堀 重雄

食品ロスについて

**質問** 昨年の第2回定例会で質問したが、食品ロス削減の取り組み状況を伺う。

**答弁** 食品ロス削減は、本市にとっても大きな課題であり、大切な運動だと考えています。

昨年提案された宴会の最初の30分と最後の10分は全員自席で食べる30—10運動については、市長が率先して各会合や宴会などにおいて市民の皆さんや市職員にも呼びかけて取り組んでいます。平成28年の広報たきかわ8月号に「食品ロスを考えよう」を掲載しています。取り組みとしては、10月3日にまちづくりセンターみんくるで開催の滝川消費者まつりにおいて、食品ロスを重要テーマとして位置づけ、展示コーナーやパネルの設置、クイズなどを企画しています。

また、市民向けにチラシを配布し、企業や飲食店向けに30—10運

動や食べきり運動の啓発に取り組んでいます。

なお、健康づくり課では、第3次滝川市食育推進行動計画に基づき、食べきり運動の普及啓発を掲げており、広報たきかわ12月号での掲載を予定しています。

児童扶養手当支給について

**質問** 現状の支給は4月、8月、12月の4か月に一回であり、受給者からは、毎月の支給の要望がある。兵庫県明石市は、今年度より試験的に毎月支給の取り組みを実施しているが、本市の見解を伺う。

**答弁** 児童扶養手当支給については、国の制度であり、自治体の判断で毎月支給することは認められていません。

新聞報道にもありましたが、現行の4か月分をまとめた支給では家計のやりくりが難しいなどの声を受けて、厚生労働省が平成31年度から2か月ごとの支給を検討する動きもあります。

このことにより支給に係る事務量は増加しますが、受給者にとってよりよい形となるように、対応していきたいと考えます。



新政会  
田村 勇

### 空き家対策について

**質問** 空家等対策の推進に関する特別措置法の全面施行から2年が経ち、空き家の所有者の把握に関して固定資産税の情報提供を求めることができると、本市の実態を伺う。

**答弁** 法が施行され、固定資産税の課税のために利用する目的で保有する空家等の所有者に関する情報を照会することにより、短時間に情報取得が可能となり、迅速な対応ができるようになったところです。法施行後に、この方法で把握した情報は11件となっています。

### 有害鳥獣駆除の対策について

**質問** アライグマ、キタキツネ、カラスの実態把握と駆除対策について伺う。

**答弁** アライグマについて、捕獲頭数は年々増加し、平成28年度は137頭となっています。

対策としましては、捕獲従事者

を増やすことを取り組み方針とし、捕獲従事者講習会を開催し、捕獲従事者には箱わなを貸与し、捕獲後は職員が回収し処分しています。

キタキツネについては、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律により保護対象となっているため、原則駆除はできませんが、農業地域においては農業被害防止対策を理由に各自治体で捕獲許可を出しており、本市においてもハンタークラブの協力のもと、年間100頭以上の駆除を行っています。市街地については、パトロールを行っています。

カラスについても、キタキツネ同様に保護対象であり、農業地域においては年間300羽を駆除しています。また、繁殖期の威嚇行動によって人に危害を加えるといった場合には、看板による注意喚起や巢の撤去といった対策を講じています。

また、これら動物の餌となり得るごみの分別やごみ荒らし防止のネットをかけるなどの協力を市民や事業所の皆さんに引き続きお願いしていきたいと考えています。



会派清新  
東元 勝己

### 新地方公会計制度について

**質問** 総務省は、すべての自治体に対し、統一的基準による地方公会計マニュアルを参考に、平成27年度から29年度までに統一的な基準による財務書類などを作成し、予算編成などに積極的に活用することを求めているが、本市での取り組みについて伺う。

**答弁** 新地方公会計制度は、地方公共団体が自らの財政状況を総合的・長期的に把握し、住民に分かりやすく公表することを目的として、12年3月に総務省地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書により、地方自治体にバランスシートの作成が提案されています。

18年6月に成立した行政改革推進法を契機に地方の資産、債務改革の一環として新地方公会計制度の整備が位置づけられ、同年5月に総務省が作成した新地方公会計制度研究会報告書により、財務書

類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成が求められました。

本市においては、15年度決算より総務省方式によるバランスシートの公表、20年度・21年度決算を総務省標準モデルで、22年度より総務省改訂モデルでの財務書類4表の公表をホームページで行っています。

今後の対応ですが28年度中に財務会計システムの改修を実施し、国より配布されている地方公会計標準ソフトウェアのインストールまで実施しています。今後、28年度データを使用し動作検証および固定資産台帳の整備、併せて一部事務組合の連結財務書類の整理を進め、来年3月までに公表を行う予定で進めていきます。

**質問** 財務書類4表のホームページでの掲載箇所が分かりにくいのが、改善の予定はあるのか伺う。

**答弁** 市民が頻繁にアクセスするような内容ではありませんが、ホームページの在り方も含め先進地などの事例も参考に今後検討していきます。



会派清新  
荒木 文一

町内会の行政上の位置づけについて

**質問** 町内会は、法律・政令・府省令など、一般国民への法的な拘束力を有する規定などは存在しない。従って国および地方自治体とは法的に無関係な存在ということになるが、本市としては行政上どのように位置づけているのか伺う。

**答弁** 町内会は任意団体であり、設立を含めた運営方法や活動内容が定められた法律があるわけではありません。しかしながら、町内会は、行政と密接なつながりがあり、行政を運営するにあたり必要不可欠であると認識しています。

町内会組織の維持、存続について

**質問** 相互扶助、環境改善、見守りや親睦、行政との連絡調整など町内会組織の存在意義は大きいと思うが、過疎化を含め存続が厳しい状況である。市が考える存続策を伺う。また、市に強制力のない

中で、町内会を解散する旨の申し出があった場合どうするのか。

**答弁** 市民への自発的な参加の働きかけが重要と考えます。町内会活動の手引きによる加入促進を継続するとともに、今後も町内会連合会連絡協議会と連携し、町内会活動を支援していきます。また、解散に関する相談などがあった場合は、存続のための課題解決に向けて継続的な協議をお願いしていきたいと考えます。

広報たきかわの配布について

**質問** 街路灯の維持管理、リサイクル推進のほか、市広報配布の役割が町内会組織として重要であるが、さまざまな要因から、その機能が破綻に向かっているとと思われる。業者委託など他の方法での配布検討の必要性について伺う。

**答弁** ご指摘のとおり町内会未加入者の方への対応や高齢化による町内会の担い手不足などによる広報誌の配布は、将来的に大きな課題と認識しています。当面は町内会が各戸に配布する方法を継続し、他の自治体の状況などを踏まえて調査研究を進めていきます。

その他の一般質問

※掲載できなかった質問事項

■柴田文男 議員

1 滝川西高等学校の施設改修について

■本間保昭 議員

1 総合交流ターミナルたきかわ（道の駅たきかわ）の近隣施設との比較について

■清水雅人 議員

1 会計年度任用職員制度について

2 国民健康保険について

3 公共施設の駐車場での車上荒らしの実態について

■館内孝夫 議員

1 避難所の見直しについて  
2 公共施設の体育館利用料金と備品利用料金について

■三上裕久 議員

1 洪水ハザードマップについて  
2 河川敷施設の増水対応について

■田村 勇 議員

1 老々虐待および孤立死等について  
2 空き店舗対策について  
3 小中学校および高校での夏季休校日の導入などについて



▲滝川西高等学校

平成29年第3回定例会において「北朝鮮による弾道ミサイル発射と核実験に抗議する決議」が議会運営委員会から提案され全会一致で議決しました。決議内容は次のとおりです。

### 北朝鮮による弾道ミサイル発射と核実験に抗議する決議

8月29日早朝、北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、本道上空を通過した後、太平洋上に落下した。

また、9月3日には、国際社会の反対を顧みず核実験を実施した。

このことは、我が国のみならず世界の平和と安定にとって深刻かつ重大な脅威であり、断じて容認できない。

本市は「平和都市宣言」を掲げ、自由と平和を世界に訴えながら、世界中の人々と国際的な交流で繋がってきた。平和な未来を子供たちに引き継ぐことが私たちの使命である。

北朝鮮による一連のミサイル発射と核実験は、私たち滝川市民の求める平和な未来を脅かすものであり、世界平和への脅威である。

滝川市議会は、北朝鮮による度重なる暴挙に対し断固として非難・抗議するとともに、政府に対して国民の保護を最優先とした、万全の措置を講じるよう強く要請する。

以上、決議する。

平成29年9月6日

北海道滝川市議会

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣へ送付

#### 「決議」とは？

決議とは、議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。

#### 過去に可決した決議

- 飲酒運転等の交通死亡事故を撲滅する決議（平成27年7月27日）
- NPO法人「日本で最も美しい村」連合への加盟に同意する決議（平成26年12月17日）

# 決算審査特別委員会

本定例会では、第1および第2決算審査特別委員会を設置し、9月12日から9月14日まで委員会を開催し、平成28年度一般会計並びに特別会計6件、公営企業会計2件について決算の審査を行いました。

## 第1決算審査特別委員会

第1決算審査特別委員会では、一般会計の議会、総務、民生、衛生、労働、農林業、商工、土木、消防、教育費等の各費目の歳入・歳出の審査を行いました。委員氏名、主な質疑は次のとおりです。

- 委員 長 安樂 良幸  
副委員長 館内 孝夫  
委員 三上 裕久 山本 正信  
本間 保昭 水口 典一  
木下八重子 柴田 文男  
荒木 文一
- 館内孝夫 副委員長  
1 公用車の維持管理について  
2 在宅ケア推進事業について  
3 がん検診事業について
- 三上裕久 委員  
1 生活保護受給者への自立支援について  
2 テニスコートの整備状況について  
3 オリンピック・パラリンピック合宿誘致の可能性について
- 山本正信 委員  
1 丸加高原専用水道に要した経

### 費について

- 2 地域児童館の人員配置と職員待遇について  
3 学力向上対策について

### ■本間保昭 委員

- 1 母子家庭自立支援給付金の不  
用額発生理由について  
2 江部乙地域振興における地域  
おこし協力隊の不用額発生理由  
について  
3 図書館の指定管理の検討状況  
について

### ■木下八重子 委員

- 1 敬老特別乗車証に要した経費  
について  
2 休日夜間初期救急維持確保事  
業に要した経費について  
3 学校給食の実施に要した経費  
について

### ■柴田文男 委員

- 1 國學院大學北海道短期大学部  
修学奨励金および滝川西高等学  
校進学促進修学奨励金の評価に  
ついて  
2 社会資本整備総合交付金の減  
額等による未執行事業について

### ■荒木文一 委員

- 1 市有不動産の売却収入について

## 第2決算審査特別委員会

- 2 税等延滞金加算及び過料につ  
いて  
3 長期欠席児童生徒の状況につ  
いて  
※第1決算審査特別委員会の質疑  
延べ54人 質疑件数93件

### 第2決算審査特別委員会では、

- 国民健康保険、公営住宅事業、介  
護保険、後期高齢者医療、土地区  
画整理事業の特別会計5件と下水  
道事業、病院事業の公営企業会計  
2件の審査を行いました。委員氏  
名、主な質疑は次のとおりです。

- 委員長 東元 勝己  
副委員長 小野 保之  
委員 堀 重雄 清水 雅人  
田村 勇 井上 正雄  
渡邊 龍之 山口 清悦  
関藤 龍也

### ■小野保之 副委員長

- 1 市営住宅敷金払い戻しについ  
て  
2 休日当番医・救急外来対応に  
ついて  
3 住宅事業費の管理人報酬につ  
いて

### ■堀重雄 委員

- 1 下水道の今後のメンテナンス  
費用のローコスト試算について  
2 介護予防サービスの内容につ  
いて

### ■清水雅人 委員

- 1 医師・医療職員確保と地域包

- 括ケア病棟開設の効果について  
2 上下水道の検針回数を減らし  
て費用減を図ることについて  
3 啓南団地10戸の空き室問題に  
ついて

### ■田村勇 委員

- 1 市立病院に対する苦情などに  
ついて

### ■井上正雄 委員

- 1 一の坂団地のエレベーター設  
置について  
2 公営住宅全体と東滝川の公営  
住宅の入居率について  
3 ふれあいフェスタのPRにつ  
いて

### ■山口清悦 委員

- 1 公営住宅の工事請負費・委託  
費の市外業者の落札状況につ  
いて  
2 医師および看護師の赤字決算  
に対する強い認識について  
3 下水道の委託費(測量)の技術  
力を加味した発注方法について

### ■渡邊龍之 委員

- 1 訪問看護の体制について  
2 医療収益における国民健康保  
険、社会保険の割合について  
3 予防医療における健康教室の  
具体的な内容について

### ■関藤龍也 委員

- 1 公営住宅の修繕費について  
2 下水道未収金・不納欠損につ  
いて  
3 市立病院の安定経営について

※第2決算審査特別委員会の質疑  
延べ48人 質疑件数189件

副議長コラム

市議会の委員会について



滝川市議会の委員会は、常任委員会、議会運営委員会、議会改革特別委員会、たきかわ市議会だより編集委員会があります。

常任委員会は、三つに分かれていて全議員がどこかに所属しています。これは自治体の業務が多岐にわたりその量も膨大なので、議員が担当を決めて細かくチェックをするためです。常任委員会には、総務部・市民生活部・会計課・教育委員会等を所管する総務文教常任委員会、保健福祉部・市民生活部の一部・市立病院等を所管する厚生常任委員会、産業振興部・建設部・農業委員会等を所管する経済建設常任委員会があります。

議会運営委員会は、各会派の代表と正副議長で構成され、本会議を円滑に運営するために日程や進行の確認をする議会の柱となる重要な委員会です。

また、議会改革特別委員会は議会改革を、市議会だより編集委員会は本誌の編集を担当しています。

滝川市議会副議長 山口清悦

議会目誌 (平成29年7月1日～平成29年9月30日)

Table with 2 columns: Date and Meeting Details. Includes entries for July 5, 10, 11, 13, 21, 24, 25, August 2, 4, 8, 8, 21, 25, 28, 29, 30, 31, September 4, 6, 6, 12, 14, 19.

編集後記

第3回定例会開催中、北海道に台風18号が上陸。9月18日には本市の西側を通過。この間、市では災害対策本部を設置し、迅速な対応にあたっていただいた。幸いにも被害は最小限にとどまりましたが、昨年にくく台風の上陸には肝を冷やしました。

たきかわ市議会だより編集委員会

- 委員長 堀木下 八重子
副委員長 堀内孝夫
委員 安楽良幸

発行責任者 滝川市議会議長

水口典一

傍聴してみませんか

平成29年第4回滝川市議会定例会開催予定日をお知らせします。

日程

- 12月12日(火) 本会議
12月13日(水) 本会議
12月19日(火) 本会議 一般質問
12月20日(水) 本会議 一般質問
12月21日(木) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048